

第31回網走開発建設部総合評価審査委員会 審議概要

開催日及び場所	令和3年10月21日(木) 10:00~12:00	
委員長	高橋 清(北見工業大学教授) (五十音順)	
委員	井上 真澄(北見工業大学教授) 駒井 克昭(北見工業大学教授) 笹木 潤(東京農業大学教授)	
議事	<p>1. 令和3年 上期総合評価落札方式(工事・業務)の実施状況について</p> <p>2. 個別審査</p> <p>1) 工事の審査について</p> <p>① 遠軽北見道路 遠軽町 記念跨道橋上部工事 (施工能力評価型I型)</p> <p>② 網走港 南防波堤改良その他工事 (施工能力評価型I型 若手技術者育成型)</p> <p>2) 業務の審査について</p> <p>③ 網走開発建設部管内 河道計画検討外業務 (簡易公募型プロポーザル方式)</p> <p>④ 訓子府地域 整備構想検討等業務 (簡易公募型プロポーザル方式)</p>	
	意見・質問	説明・回答
1. 個別審査		
<p>1) 遠軽北見道路 遠軽町 記念跨道橋上部工事 (施工能力評価型I型)</p> <p>① 技術提案において、2つめのNETIS登録技術を評価できない理由はなぜか。</p> <p>② 技術提案において「メール」の使用について書かれていましたが、現場で確実にメールを使用できるエリアなのか。</p> <p>2) 網走港 南防波堤改良その他工事 (施工能力評価型I型 若手技術者育成型)</p> <p>① 技術提案で一般船舶への留意が挙げられているが、工事中に一般船舶の航行を規制する区域を設けることは難しいのか。</p> <p>② 本工事は「若手技術者育成型」の工事として発注されたが、同種工事の経験がない技術者が配置されている場合には、企業としてのバックアップ体制が必要ですが、具体的にどのような方法を評価するのか。</p> <p>③ 当該工事での留意事項を「海上作業における安全管理に関する留意事項」とした理由は何か。</p>	<p>① 技術提案資料(別記様式4-1)に記載のとおり、2つ目以降のNETIS登録技術は評価しない。</p> <p>② 担当事務所にメールを受信出来るエリアである事を確認している。</p> <p>① 一般船舶の航行を優先するため、規制する区域を設けることは難しい。</p> <p>② 評価内容について説明した。</p> <p>③ 留意事項を設定した理由について説明した。</p>	

意見・質問	説明・回答
<p><b>3) 網走開発建設部管内 河道計画検討外業務 (簡易公募型 プロポーザル方式)</b></p> <p>① 業務概要(3) 気候変動によるリスク評価を湧別川だけ実施する理由は何か。</p> <p>② 業務の実施方針において、「最新の測量成果を用いて」という記載の有無で評価が分かれた理由は何か。</p> <p>③ 的確性について、問題点を評価した理由は何か。</p> <p>④ 実現性について、説得力の評価基準があれば教えてほしい。</p> <p><b>4) 訓子府地域 整備構想検討等業務 (簡易公募型 プロポーザル方式)</b></p> <p>① その他について、有益な代替案を評価した理由は何か。</p> <p>② 実現性について、説得力の評価基準があれば教えてほしい。</p> <p>③ 的確性について、有効性評価基準があれば教えてほしい。</p> <p>上記、工事・業務について適切な評価と認める。</p> <p>※応札者の提案又はその評価に係わる内容は、技術提案に関する機密保持の観点から記載しておりません。</p>	<p>① 湧別川だけ実施する理由を説明した。</p> <p>② 評価した理由を説明した。</p> <p>③ 評価した理由を説明した。</p> <p>④ 評価方法について説明した。</p> <p>① 評価した理由を説明した。</p> <p>② 評価方法について説明した。</p> <p>③ 評価方法について説明した。</p>